

- 日時：令和7年3月8日（土）14:00～16:00
- 場所：JAMSTEC海洋研究開発機構 横須賀本部
- 参加者：35名（小学生31名(3～6年生)、引率4名)
- 講演者：ムーンショット目標4  
粕谷健一プロジェクトマネージャー(PM)  
JAMSTEC 野牧博士、磯部博士、長野博士

## ■応募の背景（辻堂青少年会館様より）：

（公財）藤沢市みらい創造財団 辻堂青少年会館では、体験を通し青少年の健全育成に取り組んでいます。「ムーンショット型研究開発制度」は失敗を恐れず挑戦するプログラムで、次代を担う子どもたちにとっても、とても関心度が高い取り組みです。様々な社会課題について子どもたちが自分事として考え、失敗を恐れず挑戦する心、日本の科学技術を担う大人になるきっかけが作れたらと思い応募しました。

## ■概要：

粕谷PMによるムーンショット目標4・Clean Earthの紹介から始まり、「海や深海が地球でどのような役割を果たしているのか」をクイズを交えて説明。更に「深海探査船(しんかい6500)や海洋ごみの展示」を見学。「海洋プラスチック問題とは？」をテーマに深海でのプラスチック汚染の実態やその種類について紹介。

最後に「自分たちで考える、海の汚染を低減するための生分解性プラスチックの使い方（生分解性プラスチックにしたほうが良いもの、すると困っちゃうものは何か？）」をテーマにグループワークを行い、発表・議論を行いました。

## ■交流会後の感想（辻堂青少年会館様より）：

子どもたちの好奇心を駆り立て、想像力を最大限に引き出して頂きました。海洋プラスチック問題を牽引する豊富な実績を持つ専門家の皆さまのご指導と海洋研究最先端のJAMSTEC様を見学できたからだと思います。



子どもたちの興味を引き出す海のクイズ



研究所内の見学



しんかい6500  
模型見学



グループ討議



成果発表

